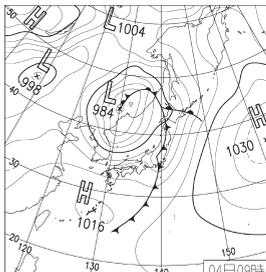


日々の天気図

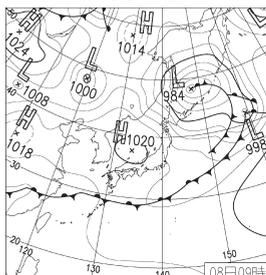
— No. 172

2016年5月

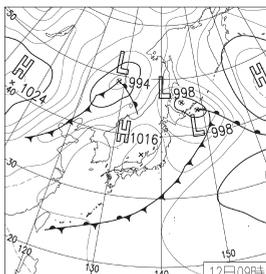
- ・3~4日、全国的に強風
 - ・海外で落雷被害相次ぎ、12~15日、バングラデシュで60名以上死亡、28日、ドイツのサッカー場で子供など多数負傷
 - ・19日、インドで国内最高気温の51°C
 - ・19~23日、北海道内で真夏日続く
 - ・2014年夏から続いたエルニーニョ現象は、今春終息したとみられる、と発表
- (気象庁予報部予報課)



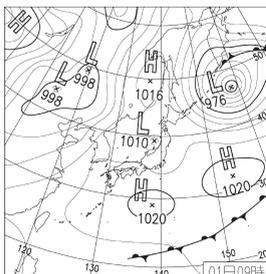
4日(水)寒冷前線、本州を通過
東日本で激しい雨、西~北日本で風強く松江の最大瞬間風速34.6 m/sは5月1位。日中は北日本を除き晴れ、群馬県館林31.6°Cなど関東は今年初の真夏日。熊本県で震度4が3回。



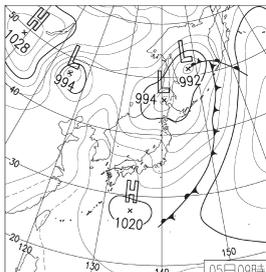
8日(日)九州に気圧の谷接近
本州付近は高気圧に覆われ概ね晴れ、前線北上し九州は次第に雨。北日本は千島近海の低気圧の影響で札幌の最大瞬間風速26.7 m/sなど風強く所々雨。網走市エゾヤマザクラ開花。



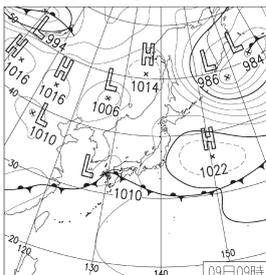
12日(木)移動性高気圧
沖縄の一部や北陸~北日本は前線や低気圧の影響で曇りや雨。その他は高気圧に覆われ風弱く晴れ。最高気温は6~7月並。北海道釧路で最大瞬間風速30.8 m/s。熊本県で震度4。



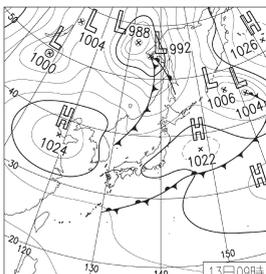
1日(日)札幌市でサクラ満開
高気圧に覆われ概ね晴れ。高気圧の縁にあたる沖縄と低気圧が接近した北陸~東北は曇りや雨。最高気温は西~東日本で6~7月並の所も。北日本は気温上がり3~4月並。



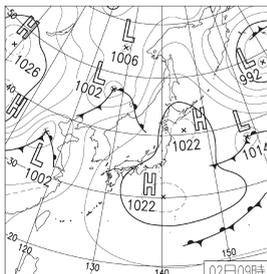
5日(木)気温高めで風強い
北日本は低気圧通過で曇りや雨。沖縄~九州は気圧の谷接近で次第に雨。東日本太平洋側中心に晴れ最高気温は7月並の所も。各地沿岸部で15 m/s以上。熊本~大分県で震度4が3回。



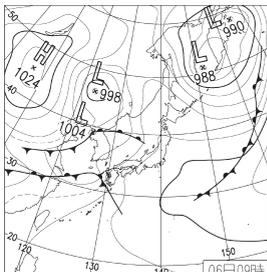
9日(月)九州南部で激しい雨
前線上の低気圧が西日本を東進。西~東日本で雨となり最高気温4月並。宮崎県えびの42 mm/1h、鹿児島県志布志104.5 mm、北日本は晴れて内陸で朝氷点下、最高気温7月並。



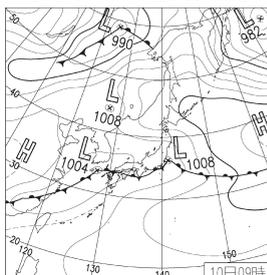
13日(金)稚内市でエゾヤマザクラ開花
釧路市は満開。沖縄の一部で前線の影響により雨のほかは高気圧圏内で概ね晴れ。全国929地点中489地点で夏日。夜は北日本に気圧の谷接近し、曇りの所も。熊本県で震度4。



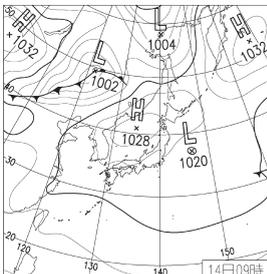
2日(月)西日本中心に高温
高気圧に覆われ晴れた所多いが、関東や東北では所々曇り。北海道では最低気温が5月の1位の所も。近畿と福井の9地点で真夏日。京都府舞鶴31.4°C。室蘭市でサクラ満開。



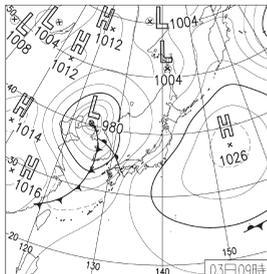
6日(金)鹿児島県で大雨
西~東日本は気圧の谷の接近で広範囲で雨。北海道も次第に雨。鹿児島県では前線の影響で局地的に雷や非常に激しい雨。平島で54.5 mm/1h、諏訪之瀬島で日降水量273.5 mm。



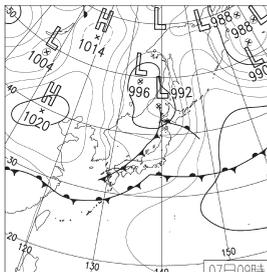
10日(火)九州で大雨続く
前線が日本付近に停滞し全国的に雨。低気圧に近い九州で非常に激しい雨。宮崎県えびのでは71 mm/1hで5月1位。日降水量は239.5 mm。釧路市でエゾヤマザクラ開花。網走市で満開。



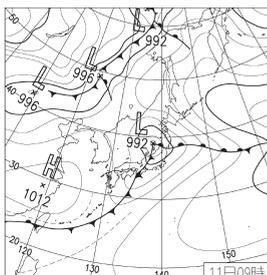
14日(土)熊本地震から1か月
震度1以上の累計回数は1400回超。日本海の高気圧に覆われ全国的に概ね晴れ。最高気温は6~7月並。沖縄~九州南部は湿った空気の影響で曇りや雨。沖縄で局地的に激しい雨も。



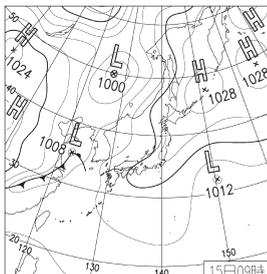
3日(火)北陸~東北で真夏日
大陸の発達した低気圧に伴う前線が通り、九州で非常に激しい雨。風も愛媛県瀬戸で最大風速26.6 m/s、福井県敦賀で最大瞬間風速35.8 m/sと西日本~北陸の各地で5月の極値。



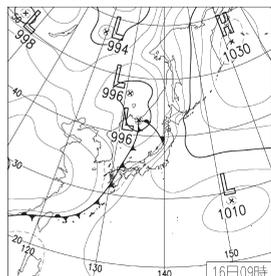
7日(土)関東内陸で真夏日
北日本を低気圧が進み、北日本や日本海側中心に雨。前線近傍の奄美で激しい雨。北海道宇登呂で最大瞬間風速33.5 m/s。関東は日中晴れて気温上昇。西日本~北陸・東北で真夏日。



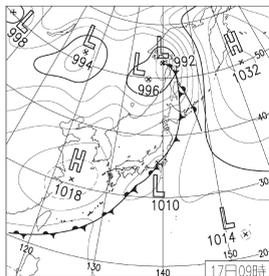
11日(水)近畿~北海道で強風
低気圧が発達して北日本へ。沖縄や東海で前線に伴う激しい雨。和歌山県友ヶ島、大阪府閑宮島、兵庫県神戸空港で5月の最大風速更新。和歌山県友ヶ島で最大瞬間風速35.1 m/s。



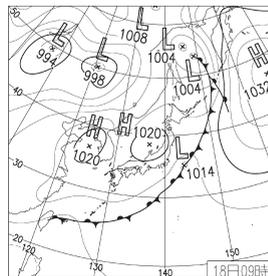
15日(日)稚内市でサクラ満開
西日本は気圧の谷接近で夜には雨。最高気温は日本海側で7月並。沖縄や九州、山陰で真夏日。1月18日の奄美市から始まったサクラの便りは稚内市のエゾヤマザクラ満開で終了。



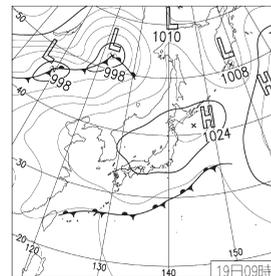
16日(月) 沖縄・奄美で梅雨入り
沿海州沖の低気圧からのびる前線の通過で西日本は激しい雨。北海道増毛で最大瞬間風速32 m/s。北陸中心に真夏日。新潟県大潟33.4℃は5月の最高記録。次城県で震度5弱。



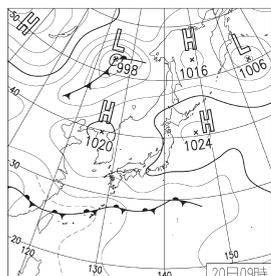
17日(火) 北海道は高温
東～北日本を前線が通過し、三重県熊野新鹿で40.5 mm/1hなど東海で激しい雨。西日本は概ね晴れ。北海道佐呂間で最大瞬間風速26.5 m/s。北海道では最高気温が6～7月並。



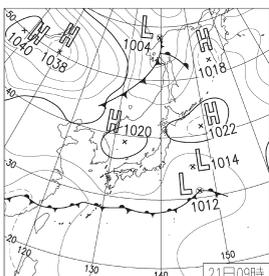
18日(水) 沖縄・奄美以外は晴れ
梅雨前線が停滞し沖縄・奄美は雨や曇り。沖縄は激しい雨や雷も。西～北日本は広く高気圧に覆われて晴れ。最高気温は沖縄・奄美以外で平年より高く、北日本は7月下旬並の所も。



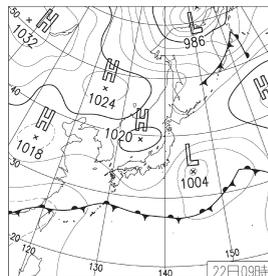
19日(木) 北海道で初の真夏日
沖縄・奄美は前線の影響で曇りや雨。沖縄県城辺で61.5 mm/1hなど非常に激しい雨。西～北日本は高気圧に覆われて晴れ。北海道では最高気温が平年より10℃以上高い所も。



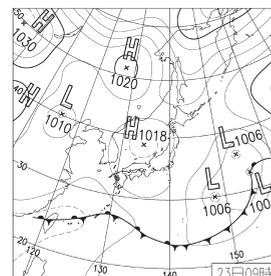
20日(金) 北海道、気温高め続く
鹿児島県伊仙では59.5 mm/1h。寒気を伴う気圧の谷の影響で東日本太平洋側中心に一時曇り、その他は晴れ。北海道は最高気温が最も暑い時期を上回り内陸中心に14地点で真夏日。



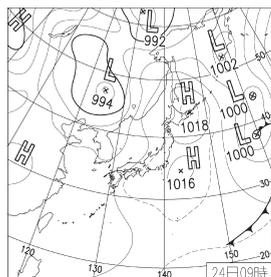
21日(土) 北海道で真夏日続く
沖縄・奄美と関東～東北部で雨。全国の真夏日67地点の半分34地点が北海道で観測され、北海道の上川盆地を中心に29地点で5月の最高気温1位の記録更新。



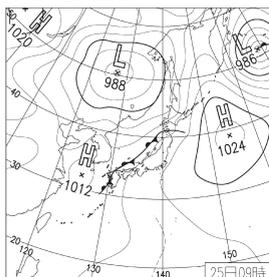
22日(日) 北海道で4日連続真夏日
前線の影響で沖縄・奄美は曇りや激しい雨。その他は高気圧に覆われ晴れ。全国929の気温観測地点中102地点で真夏日。最高は北海道駒場33.1℃で5月の1位を更新。



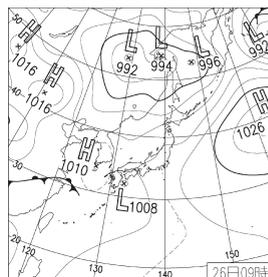
23日(月) 東京で初真夏日30.9℃
気圧配置は前日と大きく変わらず沖縄・奄美は曇りや激しい雨。その他は概ね晴れ。全国的に気温上昇し、最高気温は群馬県桐生で34.2℃など、5月までで最多の214地点で真夏日。



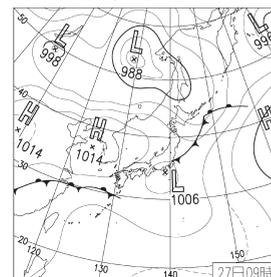
24日(火) 石川県小松で33.8℃
高気圧は日本の東へ移動し東日本中心に晴れたが、北日本や西日本は気圧の谷の接近で次第に曇り、西から雨。関東や山陰～北陸でも真夏日に。関東に今年初のスモッグ気象情報。



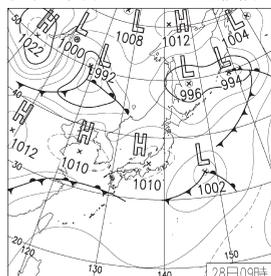
25日(水) 前線停滞
前線が北海道～沖縄にかけて停滞し、全国的に曇りや雨。九州～四国では激しい雨。最高気温は北陸の沿岸～北日本で平年差+6℃以上高く、北海道オホーツク海側では+10℃以上も。



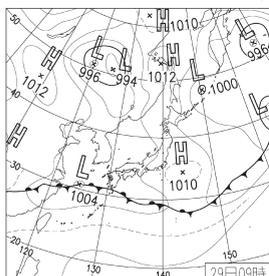
26日(木) 東～北日本で高温顕著
日本海～北日本に前線が停滞し四国沖を低気圧が東進。南から暖かい空気が流れ込み、全国的に曇りや雨で7月並の暖かい朝。静岡県石廊崎では最高気温26.4℃で5月の極値更新。



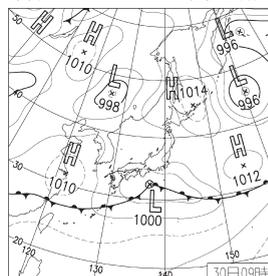
27日(金) 南岸低気圧と前線通過
広範囲に雨域広がるが、日中は西日本や北日本は晴れ。沖縄も晴れて気温上昇。東日本は関東沿岸部を中心に、夕方まで雨風強い。夜は気圧の谷の接近で西日本は再び雨。



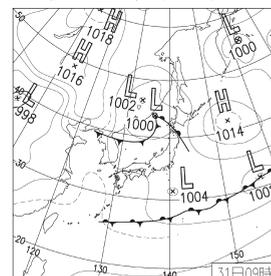
28日(土) 沖縄・奄美、高温続く
九州の南から日本の南にのびる前線の影響で西～東日本は曇りや雨。九州・四国を中心に雨。北日本は晴れたが夕方から雨。沖縄・奄美と北日本は気温が上がり最高気温は真夏並も。



29日(日) 沖縄・奄美では熱帯夜
華中～日本の南には前線が停滞し、前線上の低気圧が九州付近へ進む。九州・四国で激しい雨。夜には東日本も雨。東～北日本では日中は概ね晴れて東北部も真夏日に。



30日(月) 関東、日中の気温4月並
前線・低気圧などの影響で曇りや雨の所多いが、西・北日本は日中回復。関東の最高気温は未明に出現し日中の気温は4月並。北海道では冬日も。鳥取市・津市でホテル初見。

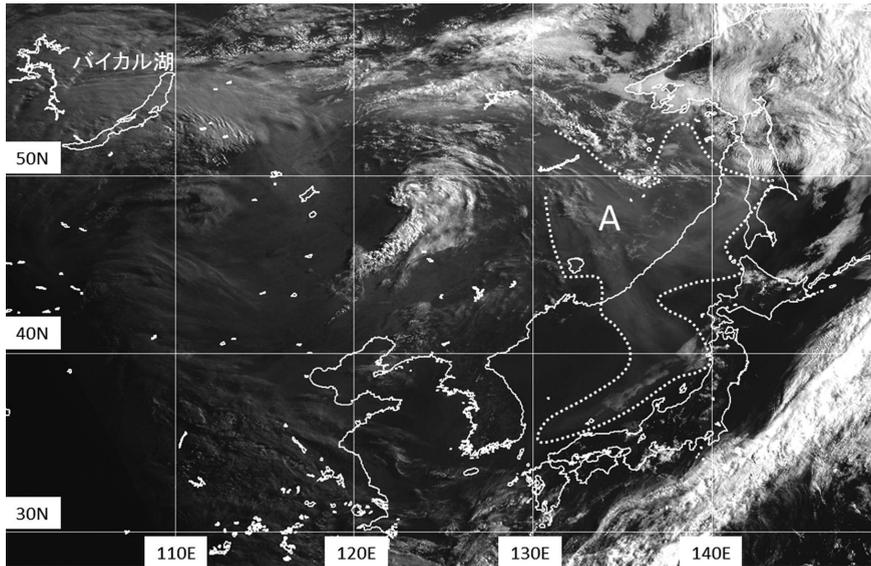


31日(火) 北日本で雷雨
高気圧に覆われ広く晴れたが、北日本は寒気を持った低気圧の接近で大気の状態が不安定となり、局地的に雷を伴った雨。1時間降水量は北海道名寄34.5 mm/1hなどで5月の1位。

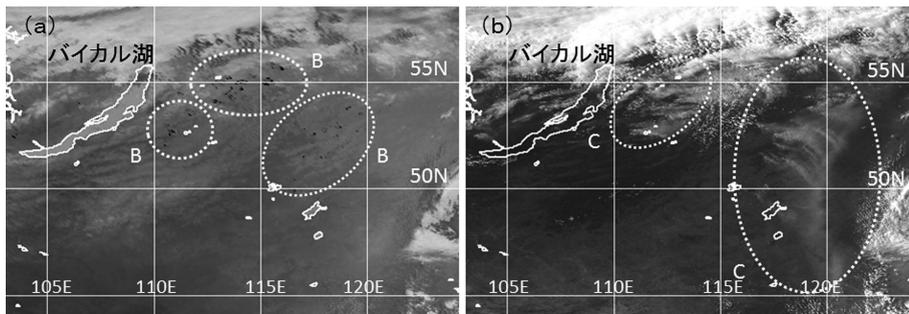


今月のひまわり画像—2016年5月

ロシアの泥炭火災



第1図 2016年5月18日07時（日本時間）の日本付近における可視画像（記号及び点線は本文参照）。



第2図 15日18時のバイカル湖の東付近における (a) 赤外4画像, (b) 可視画像（記号及び点線は本文参照）。

第1図は2016年5月18日07時（日本時間）の日本付近における可視画像である。日本海付近は本州を中心に持つ高気圧に覆われて晴天となっている。しかし、沿海州から日本海にはペール状の領域（点線A内）が認められる。今回はこの領域について考えてみたい。

第2図aは3日前の15日18時の赤外4画像（波長：3.9 μm ）である。バイカル湖の東には、ホットスポットと呼ばれる周辺の地面より非常に温度の高い黒い点が散在している（点線B内）。第2図bは同時刻、同範囲の可視画像である。第2図aで認められた黒い点の位置から煙のようなものが東ないしは南東方向にたなびいている様子が見える（点線C内）。B

内の地域では大規模な泥炭火災が発生していた模様で、赤外4で見た黒い点は火災の発生地点、可視画像で見える煙のようなものはこの地点から立ち上る火災煙と推定できる。同日、バイカル湖付近の850 hPa面にはリッジがあり、該地域の850 hPaでは西ないしは北西の風が吹いていた。一方、中国東北区から黄海の同面ではトラフが東進しており、このトラフは18日には日本の東へ抜けていった。バイカル湖の東で舞い上がった泥炭火災による煙は東進するトラフの後面に流れ込み、トラフの移動とともに日本海方面へ運ばれ、第1図のペール状の領域として出現したものと推定できる。

（気象庁予報部予報課 野中信英）